

脳卒中後の痙縮^{けいしゆく}（筋肉のつっぱり）

などでお困りの方・・・

（痙縮とは筋肉が緊張しすぎて

手足が動きにくかったり、勝手に動いてしまう状態）

**日常生活（QOL）を向上させることを
目的としてボツリヌス療法を行います。**

（実際に治療を受けられた方の声）



80代男性（妻と同居）
曲がっていたひじが伸び、着替えが
しやすくなった。



50代女性（夫・子と同居）
床に足裏がしっかりとつき、装具なし
でも自宅内を歩けるようになった。



40代女性（父と同居）
父から、筋肉のピクツキや痛みの
訴えが減り家族としても嬉しい。

市立舞鶴市民病院

病院理念

あなたの笑顔のために・・・



ご相談・問い合わせは・・・

市立舞鶴市民病院 地域医療連携室

〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷 1350-11

電話 0773-60-9022（直通）

FAX 0773-76-8730

ボツリヌス療法のご案内

市立舞鶴市民病院では

ボツリヌス療法を実施しています。

（治療効果の一例）

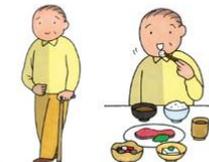
痙縮（けいしゆく）



●筋肉が緊張しすぎて
しまう状態で、
手足がこわばったり、
つっぱったりします。

●片まひと同じ側の手足にあらわれる
ことがほとんどです。

手足の筋肉がやわらかくなり、動か
しやすくなることで、日常生活動作
（ADL）が行いやすくなります。



介護の負担が軽くなります。



市立舞鶴市民病院

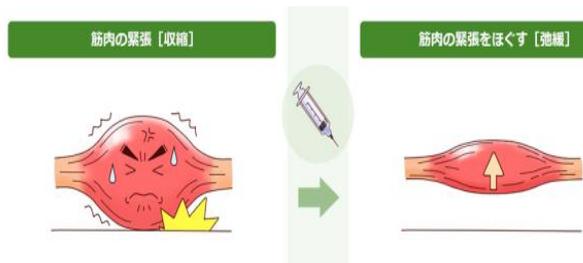
〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷 1350-11

市立舞鶴市民病院では「ボツリヌス療法」を実施しています

(ボツリヌス療法とは)

脳卒中などの後遺の1つである手足の麻痺とともに現れることが多い筋肉のつっぱり(痙縮)に対する治療法です。

ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質を筋肉内に注射し、筋肉に命令を出す神経に作用させることで、筋肉の緊張を和らげることができます。この効果を利用して集中的にリハビリを行い、手足を動かしやすくすることで日常生活の質の向上を目指します。



また、この治療費には保険が適用されます(福祉医療・高額療養制度も利用可能)。

なお、この治療は2週間程度の入院をし、集中的にリハビリを行うと効果的です。

(対象部位症状)

- ・ 上肢痙縮
- ・ 下肢痙縮



【治療のステップ】

ボツリヌス注射の効果は、注射後2~3日目から徐々にあらわれ、通常3~4ヶ月持続し徐々に消失します

- STEP 1 診察：ボツリヌス療法が適応かどうか、診察によって判断します。目標設定「何に困っているのか」「何をできるようになりたいか」といった点について、ボツリヌス療法を実施する医師と相談し治療の計画を立てます。
- STEP 2 初回治療：つっぱりのある筋肉に薬を注射します。
- STEP 3 入院：注射後2~3日目から入院して、リハビリを実施します。
- STEP 4 退院：2週間で退院していただきます。次回診察・治療について、日時等を相談します。
- STEP 5 2回目の治療：経過観察を経て薬の効果が弱まってきたら、2回目の治療を行います。

=以降は経過観察と治療を繰り返します=

あなたの日常生活の質を向上させるためにボツリヌス療法を。。。

脳卒中の患者は現在約150万人と言われ、毎年25万人以上が新たに発症していると推測されています(日本脳卒中協会)。寝たきりになる原因の一位であり、3割近くを占めています。そして、社会の高齢化によりその患者はますます増加することが予想されています。

医学の進歩により、脳卒中の発作が起きても命を落とさずにすむ人は多くなっています。しかし、まったく後遺症なく生活できるまで回復する人は20%にすぎず、後遺症のために生活に介助を要する人も少なくないのが現状です。後遺症の主な原因となるのが痙縮と呼ばれる筋肉の緊張が高まった状態です。

2010年10月にわが国で脳卒中後などの上下肢痙縮にたいしてボツリヌス療法が承認され、脳卒中治療ガイドライン2009でボツリヌス治療は痙縮に対する治療法としてエビデンスレベルgradeAとされています(最も効果があるということです)。その治療効果は数年経過した症例にも有効との報告もあります(日本医事新報、2013、75-80)。

当院にてボツリヌス療法に特化した外来を行うことにより、京都府北部において脳卒中後の痙縮に困っている方々に日常生活の改善と介助者の負担の軽減をめざします。

(市立舞鶴市民病院 院長 井上 重洋)

